

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		観光振興事業						予算事業名		観光振興事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				07	01	05	1101	経常経費					
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業			
		地域資源を活用したにぎわいと交流の促進								重点事業			
		地域資源を活用した観光の振興						担当課係等		商工観光課			
						観光係							
事業期間		継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
・地域資源及び広域観光を活用した観光振興を図る。・訪日外国人を含む観光誘客の推進及び観光振興による地域活性化を図る。・市内商業者の観光事業への取り組み強化を図ることにより、観光振興と地域活性化の相乗効果を目指す。							観光協会への支援を行う一方で基盤整備は自治体が担っているのが一般的である。また、近年においては、広域連携による観光振興も推奨されており、これに取り組む自治体も多い。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・地域資源を網羅した観光パンフレット等を配布し、観光誘客のアイテムとして活用する。 ・観光協会に対する補助 ・観光物産センターを充実させ販売を促進する。 ・姉妹都市などの関係都市のイベントに参加し、観光誘客活動を行う。							訪日外国人を含む観光客、市内商業観光事業者						
							【事業をとりまく環境の変化】 交流人口の増加や地域経済の活性化を図るための手段として「観光振興」が求められているほか、コロナ後のインバウンドの復活も見据える。また、携帯端末の普及により、紙媒体からインターネットを最大限に活用した電子媒体での情報発信が主流となっており、これに関する基盤整備も喫緊の課題である。						
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】					
商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討 ・市町村境案内板撤去 ・看板、辻札修繕				商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討 ・市町村境案内板撤去				商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討					
■事業費													
				R03年度		R04年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	300						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	10,093	11,133						
歳入計 (千 円)				10,093		11,433							
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千 円)		金額 (千 円)							
	07 報償費			160		264							
	08 旅費			9		293							
	10 需用費			1,330		1,580							
	11 役務費			4		30							
	13 使用料及び賃借料			719		731							
	14 工事請負費			0		264							
	18 負担金補助及び交付金			7,871		8,271							
歳出計 (千 円) (A)				10,093		11,433							
伸び率 (%)						13.27							
備 考													

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	観光物産センター来館者数	人	目標	10,000.00	12,000.00	13,000.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	伝統工芸館来館者数	人	目標	800.00	1,000.00	1,200.00
			実績	842.00	0.00	0.00
成果 指標	協会実施イベントの精査・調整	実施	目標	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	観光入込客数	人	目標	450,000.00	500,000.00	550,000.00
			実績	377,200.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	観光事業の実施、観光客に対する基礎的な情報提供の観点から必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	基本的な観光情報の提供や観光基礎インフラの整備は行政が行うべきである。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	正解がある事業ではないが、ある程度の基本的な定石手段は存在する。本事業は基礎的な事業の実施を行う。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	商業観光振興計画に基づき効率的に実施するように努める。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	直接的には観光客、事業者に資する事業であるが、市民にイベントを提供することで活気を与えるとともに、最終的には税収の伸びが市民全体に還元される部分もある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	コロナ禍後のこれからV字回復を目指し成果は上がる一方である。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	協会実施イベントの精査については、コロナ禍が明けた後行っていく。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業費中、大きなウエイトを占めるのは協会への補助金であるため、協会主催のイベントを精査していく。観光客及び市民が望むイベントを行うべく、協会役員とともに実効性あるイベントの実施に取り組む。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
商業観光振興計画に掲げられた「稼げる観光」の実現に向けて種々の改善に取り組む。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 本市活性化の起爆剤として観光は重要な要素として位置付けられている。積極的かつ効果的な事業を展開するためには、財源だけではなく、人も重要となってくる。市職員の充実はもちろんながら、地域の人との信頼関係の構築と連携が鍵を握るといっても過言ではない。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	